

進む人材のグローバル化 3

優秀な人材求め 国籍不問の採用

日本人の場合、海外で働くことでグローバルに活躍できる人材になることを目指すケースが多いが、留学生にとっては日本で就職することも、世界で通用する人材になるための一つの選択肢となっている。東京海上日動の張鵬氏もそうした一人。「日本で真にグローバルに活躍できる人材になりたい」という張氏に業務への取り組み姿勢や今後の目標について聞いた。

東京海上日動

張氏の来日のきっかけは、大学院入学だった。2007年に中国の大学を卒業後、留学先として、大学院入学だった。その背景には、ほかの学生との差異化を図りたいという思いがあった。東京大学の大学院で



張氏

都市工学を専攻していたが、在学中に金融への興味が生じた。

もともと自身のキャリアアビリティとして、国際

張 鵬氏(中国出身)

「東京海上日動のDNA 世界に広めたい」

小原保険課長が監督指針など解説

実態に応じたモニタリングを実施

損保協会 コンプラセミナー開く 行政から見た損保の課題



小原課長

損保協会は10月23日、「金融監督行政から見た損保業界の課題について」をテーマに、コンプライアンスセミナーを開いた。当日は金融庁監督局の小原広之保険課長が2012年度の監督指針の内容などについて講演、同協会のコンプライアンス委員会委員など約70人が参加した。

小原課長はまず、保険会社への検査・監督の重点方針が保険金などの支払いを適切に実施しているかどうかを見ていくことにあるとし、「適切な保険金支払い管理態勢の構築を最初に掲げたのは、保険金などの支払いが保険会社の最も重要な責務であると認識しているからだ」と強調した。

また、今年度の特徴として、①「保険会社等の属性に応じた対応」を挙げ、保険グループ、中小規模の保険会社など検査対象の実態に応じて注意深くモニタリングしていくこと②国内外の自然災害の多発に対して、保険会社が統合的なリスク管理態勢を確保しているかを検証していくこと③保険代理店の大型化・多様化が進む中、保険会社に



コンプライアンス担当者など多数が参加

よる監督がどの程度行き届いているかを見ていくこと一を指摘した。

一方、金融審議会の動

の在り方や、保険仲立人の定義の明確化など業界の要望が審議されたことについて説明した。

最後に小原氏は「苦情や不祥事件を放置すると非常に大きなダメージになる。これらに適切に

対応することによってプラスを生むこともある。コンプライアンス部門として社内リーダーシップを發揮し、法令順守態勢の構築に努めてほしい」「コンプライアンスは単に法令違反かどうかという狭い範囲でとらえるのではなく広い意味で顧客の期待にこたえているかということまで含む解釈が必要だ。守備範囲を自ら狭めるのではなく、顧客や会社全体の将来に意を払ってほしい」と述べた。

homai web

保険毎日新聞社のホームページ
http://www.homai.co.jp

就職活動を始めた。就職活動では、金融業界の財務の仕事を目指し、各社の入社試験には、日本人の就活生と同じ土俵に立つ覚悟で臨んだ。日本語の筆記テストは難しかったが、足りない部分は別の強みで埋めることができるかと考え、真摯(しんしん)に取り組んだ。

その結果、証券会社や信託会社から内定を得たが、自身の目標を達成するための企業として公共性が高く、業界のリーディングカンパニーである点に魅力を感じ、東京海上日動を選んだ。

2010年、同社に入社。希望していた財務部門に配属された。現在は、資産運用情報やリスクターンの情報を分析し、経営資源の効率的な配分のための情報を提供する業務に携わっている。地味な仕事も多いが、自分の仕事の成果が経営に生かされていることに大きなやりがいを感じている。

職場では、外国人であることを意識する機会はない。上司は一定の気遣いをしてくれているが、意識のバリアを感じることもない。性格的に結果を重視しがちなため、結果のみならずプロセスも重視する周りのスタッフと意見が分かれる場合もあるが、まだ入社して2年半ということを自覚して、「上司の意見をよく聞くように気を付けている」と語る。

T.F.K 全国19拠点の営業体制に 岡山・広島支店などを開設

独立系保険代理店のT.F.K(東京都港区、黒川哲美社長)は、11月1日に中兵庫営業所、12月3日に岡山支店、11日に広島支店を開設する。これにより、同社の支店・営業所は全国19拠点となる。

同社は全国での拠点展開を意欲的に進めており、今後、新宿、藤沢、大宮、厚木、旭川、静岡などに支店を増設する予定。

中兵庫営業所、岡山支店、広島支店の所在地は次のとおり。

▽中兵庫営業所：〒677-0111 兵庫県多可郡多可町八千代区門田166-16(電話0795-37-2037/ファクス0795-37-2040)

▽岡山支店：〒700-0826 岡山市北区鷹匠町10-20 鷹匠ビル8階(電話086-8033-9393/ファクス086-8033-9394)

▽広島支店：〒730-0013 広島市中区八丁堀4-4エイトバレー八丁堀5階(電話082-511-2477/ファクス082-511-2478)

外国人社員採用の背景

東京海上日動では、11年から外国人採用を積極的に進めている。その背景について人事企画部の野口洋介氏は「企業が外国人の採用を進めるのは、①優秀な人材の母集団の拡大②フリーランスを生むこともある。コンプライアンス部門として社内リーダーシップを發揮し、法令順守態勢の構築に努めてほしい」「コンプライアンスは単に法令違反かどうかという狭い範囲でとらえるのではなく広い意味で顧客の期待にこたえているかということまで含む解釈が必要だ。守備範囲を自ら狭めるのではなく、顧客や会社全体の将来に意を払ってほしい」と述べた。

伴って優秀な人材の全体量が減る中で、外国人学生のより積極的な採用活動を進めている。外国人の学生は、目指す企業に「同じような人がどのくらいいるのか」「どのようなキャリアを積むことができるか」を気にする傾向があるため、同社では、今後も大学主催の企業説明会などにも積極的に参加し、外国人の採用を進めていく方針だ。